

## 第6回日本語・日本文化国際学術大会

# 多言語多文化共生と日本語日本文化

【概要】グローバル化の進展に伴い、人々の国際的な移動が活発になっており、この動向によって多言語多文化教育の重要性が一段と高まっています。日本においても、近年は異なる文化的背景を持つ外国人の定住者が増加しており、言語や文化を超えて共生できる多文化社会の構築が急務とされています。成人を対象とした日本語教育や児童を対象とした日本語指導及び母語教育の推進が重要視されている中で、多言語多文化教育のあり方の検討が喫緊の課題として突きつけられています。

本国際大会では、国内外から約30名の研究者をお迎えし、「多言語多文化共生と日本語・日本文化」というテーマのもと、日本語と日本文化、日本語教育と多言語多文化共生教育といった側面から、日本における多言語多文化教育の推進に関する課題と展望について討議します。

### 【基調講演】

#### 1. ペリーは、日本でどのように認識されてきたのか

朴三憲（建国大学校、教授）

#### 2. 『清議報』に関する研究と今後の展望

王閏梅（華中科技大学、准教授）

#### 3. 洗濯動作「乾」に関わる語彙の日中対照研究—日本語「干す」と中国語「晾」を中心に—

黄愛玲（国立高雄科技大学、准教授）

#### 4. 社会にとっての継承語教育の役割を考える—大学院での教育実践をもとに

松永典子（九州大学、教授）

分科会1「日本語と日本文化」

分科会2「日本語と日本語教育」

分科会3「多文化共生と継承語教育」

（プログラムの詳細はポスター2枚目をご参照ください。）

### 【開催概要】

日程	会場	参加費
2023年 12月2日（土）09:00 - 12:30 基調講演	九州大学伊都キャンパス ゲストハウス多目的ホール	無料
12月2日（土）13:30 - 17:30 分科会	九州大学伊都キャンパス センターゾーン2号館	無料
12月2日（土）18:00 - 20:00 意見交換会	九州大学伊都キャンパス Big Orange	3,000円(予定)
12月3日（日）10:00 - 15:00 フィールドワーク	大宰府市（市内文化施設見学、異文化交流会）	無料

- 注
1. 昼食のご提供はございません。学生食堂が利用できます。
  2. 意見交換会へのご参加は希望する方に限ります。
  3. 学生は「統合学際研究法」（12月2日：0.5単位、12月3日0.5単位）に履修登録できます。
  4. フィールドワークに参加できる人数が少人数に限られており、抽選を行います。抽選の結果は個別にご連絡致します。

伊都キャンパスマップ  
ダウンロード



### 【申込方法】

右のQRコードや下のURLで申し込んでください。

<https://forms.office.com/r/9p1GruCsLc>

【締め切り】2023年11月29日(水) 17時まで

